

医療と物語

責 任 者・コーディネーター	外国語学科英語分野 柳谷 千枝子 准教授		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野、緩和医療学科、救急・災害医学講座、臨床遺伝学科、教養教育センター		
対象学年	1	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義 20 時間 (10 コマ)
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・ねらい

医学と医療の違いを考え、人間関係に基づく医療行為を理解するために、近代科学と対極にある物語の世界について考える。医療現場では、細胞や組織、臓器が病気に侵されたときにどのように変化したかを見極める病理診断によって治療が行われる一方で、臨床疫学的な見地と個々の症例を結びつけたエビデンス・ベイスト・メディスン（EBM 科学的根拠に基づく医療）と医療面接において病について語る患者のストーリーから病の原因と治療方法を探るナラティブ・メディスン（物語と対話に基づく医療）の両面から病を考えることが行われている。

本講義では文学の物語享受の有り方を通して、本学附属病院ならびに災害医療センターの臨床医、学内外の専門家の協力を仰ぎながら、病のストーリーを受容するための基本姿勢を学修する。文学においては、とりわけ「死」や「痛み」をテーマとする作品を精読し、グループワークやディスカッションを通して、生きることと死ぬことの意味を自分に問いかける。

文学がときに病いと密接に関わりながら創造されてきたことを理解し、医療現場における病者の物語、病いの物語、医療従事者の物語に対する問題意識を持つ。文学の韻律や象徴の技法を学ぶことによって、文学を読み解くように病者や病の現実を受容するアプローチの可能性を理解する。また、臨床現場における最新の知見や症例における物語的側面に意識を向け、誠の医療人として地域での医療体験実習や臨床実習に臨む心構えを形成する。様々な物語を読むことによって、自分自身の人生、他者との関わり、医療人としての立場におけるナラティブを考え続けるためのビジョンを形成する。

・学修目標

1. 医学と医療の違いについて説明することができる。
2. 患者、医療者、病いそれぞれの物語について、多角的観点から説明することができる。
3. ナラティブ・メディスンとナラティブ・ベイスト・メディスン、エビデンス・ベイスト・メディスンの違いを具体的に述べるができる。
4. テキストで機能的に使用されるメタファーを抽出し、その意味を解釈することができる。
5. 臨床現場における病いと治癒を媒介するナラティブ・アプローチに目を向けることができる。
6. 多くのテキストを味読することにより、死と生、痛みや苦しみにについて自身の考えを述べることができる。

・薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）対応項目

B-2-1 対人援助のためのコミュニケーション、B-2-2 多職種連携、F-5-1 医療・福祉・公衆衛生の現場で活動するための基本姿勢

・学修事項

- (1) ナラティブ・メディスン、ナラティブ・ベイスト・メディスン、エビデンス・ベイスト・メディスンに関する知識。
- (2) 病いの定義やトータルペイン、死の受容の5段階に関する知識。
- (3) 物語に描かれているメタファーや、登場人物の感情のプロセスを読み解く能力。
- (4) 他者の抱える苦痛や苦悩を理解しようとする姿勢。
- (5) 価値観や文化、宗教など背景の異なる他者を理解し、受容する能力。
- (6) テーマに基づいた適切な本を選んで読み、その内容を多様な視点から捉えて論理的に説明する能力。

・この科目を学ぶために関連の強い科目

生命倫理学、医療とコミュニケーション、文学の世界、人間関係論、パーソナリティ心理学

・この科目を学んだ後につなげる科目

医療倫理とヒューマニズム、チーム医療リテラシー

・講義日程

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
9/4	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 准教授	授業ガイダンス、ナラティブ・メディスンと G. Greene 小説の中の病者 1. ナラティブ・メディスンの概要および文学との関連性について理解できる。 2. A. Kleinman の病いの定義について理解し、説明できる。 3. G. Greene の作品に描かれている病める者特有の表情や行動を分析し、説明できる。 事前学修：ナラティブ・メディスンの定義について調べる。 事後学修：講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。
9/11	木	2	緩和医療学科	木村 祐輔 教授	治療の物語—臨床における緩和ケア 1. 緩和医療の現場における治療とケアの実践について理解できる。 2. 病に罹患した患者や家族の苦悩を理解し、医療人としての自身の役割、あり方を考えることができる。 事前学修：緩和ケアとは何かについて調べる。

					事後学修：講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。
9/18	木	2	救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授	災害医療の歴史と東日本大震災での医療活動 1. 災害医療の歴史について理解できる。 2. 東日本大震災での医療活動の実態について説明できる。 3. 東日本大震災以降の大規模災害での医療活動を理解できる。 事前学修：災害と災害時の医療活動について調べておく。 事後学修：講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。
9/19	金	4	教養教育センター	熊谷 治子 非常勤講師	「病」と「死」の物語—T. S. エリオット原作ミュージカル『キャッツ』と「うつろな人々」 1. T. S. エリオットの詩の物語性を理解できる。 2. T. S. エリオットの詩から「病」と「死」について理解し、説明できる。 事前学修：T. S. エリオット原作のミュージカル『キャッツ』のあらすじを調べておく。 事後学修：講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。
9/25	木	2	教養教育センター	平林 香織 非常勤講師	『源氏物語』「空蝉巻（うつせみのまき）」のナラティブを考える 1. 『源氏物語』のポリフォニックな語りに耳をかたむけることができる。 2. 文学作品読解の方法が、医療におけるナラティブ理解に応用できることを理解できる。 【グループワーク】 事前学修：日常生活における自分の話し方や聞き方のスタイルの特徴について考える。 事後学修：登場人物のナラティブを考えながら本（小説）を1冊読む。
10/30	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 准教授	ビブリオバトル（クラスマッチ） 1. 自身が選んだ作品についてその魅力を分かりやすく伝えることができる。 2. ビブリオバトルを行うことで、論理的思考能力を身に付けることができる。 3. 質疑応答やジャッジを通じて自身の発表に関する改善点を挙げることができる。 【プレゼンテーション】 事前学修：My Biblio を選んで期日までにコ

					ンテンツシートを作成、提出する。 事後学修：ビブリオバトルのテーマについて自身と他者の見解の相違をまとめる。
11/6	木	2	臨床遺伝学科	山本 佳世乃 特任准教授	遺伝性疾患の物語―臨床におけるナラティブ・カウンセリング 1. 遺伝性疾患をもつ患者・家族の語りから「病い」の経験の多様性を理解できる。 2. 聞き手が語り手に及ぼす影響を体験し、理解できる。 【グループワーク】【ロールプレイ】 事前学修：遺伝カウンセリングの定義を調べる。 事後学修：講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。
11/13	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 准教授	ビブリオバトル（ファイナルマッチ） 1. 選出されたバトルとビブリオバトルを行うことで、幅広い書籍情報を共有できる。 2. 質疑応答やジャッジを通じて自身の発表に関する改善点を挙げることができる。 3. 選出されたバトルの発表を聴いて、自身の考えや意見を論理的に述べることができる。 【プレゼンテーション】 事前学修：スタナビの「ビブリオバトル」を読み、理解しておく。 事後学修：各バトルの発表の要点と自身の見解をまとめる。
11/14	金	4	教養教育センター	佐藤 洋一 名誉教授	文学とエンタメにみる医科学の歴史；フランケンシュタインとファウストを例にして 1. 知識の間違った応用（非倫理的な応用）の例を述べることができる。 2. 知識を無限大にふやすことの是非を論じることができる。 3. 科学の進歩が必ずしも人類の平和をもたらすわけではないことを踏まえ、倫理的な応用について持論を展開できる。 【双方向授業】授業中、インターネットクリッカーを使用する。 事前学修：『フランケンシュタイン』と『ファウスト』のあらすじを調べておく。 事後学修：講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。

11/20	木	2	英 語 分 野	柳谷 千枝子 准教授	総括、様々な物語を通して 1. 本講義全体を通して病者の物語、病いの物語、医療従事者の物語を通じて生きることと死ぬことの意味を考察し、意見をまとめることができる。 2. 患者が抱える様々な苦痛を読み解き、理解することができる。 事前学修：講義資料やリアクションペーパーをもとに全体を通して印象に残ったキーワードを挙げ、医療と物語の関係性について自身の考えを整理しておく。全人的苦痛（トータルペイン）について復習しておく。 事後学修：講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。
-------	---	---	---------	------------	---

・ディプロマポリシーとこの科目関連

1. 薬剤師として医療に携わる職業であることを理解し、高い倫理観と豊かな人間性、及び社会の変化に柔軟に対応できる能力を有しているもの。	○
2. 地域における人々の健康に関心をもち、多様な価値観に配慮し、献身的な態度で適切な医療の提供と健康維持・増進のサポートに寄与できるもの。	○
3. チーム医療に積極的に参画し、他職種の相互の尊重と理解のもとに総合的な視点をもってファーマシューティカルケアを実践する能力を有するもの。	○
4. 国際的な視野を備え、医療分野の情報・科学技術を活用し、薬学・医療の進歩に資する総合的な素養と能力を有するもの。	○

・評価事項とその方法

【総括的評価】

1. 期末レポート: 50%
2. 毎講義のリアクションペーパー: 30%
3. プレゼンテーション、グループ・ワーク、ディスカッション: 20%

【形成的評価】

講義内容に関する質疑応答により、理解度評価を行う。

学修事項	DP	期末レポート	リアクションペーパー	プレゼンテーション等	その他	合計
1	2、4	5	5			10
2	1、2、4	10	5	5		20
3	1	5	5			10
4	1、2	5	5			10
5	1、2	10	5			15
6	1、2、4	15	5	15		35
合計		50	30	20		100

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	ナラエビ医療学講座	斎藤 清二	北大路書房	2011
参	医療におけるナラティブとエビデンスー対立から調和へ	斎藤 清二	遠見書房	2016
参	Narrative Medicine	Rita Charon	Oxford UP	2008
参	Narrative Based Medicine	Trisha Greenhalgh & Brian Hurwitz	BMJ	1998
参	史上最高に面白いファウスト	中野 和朗	文藝春秋	2016
参	フランケンシュタイン（光文社古典新訳文庫）	メアリー シェリー	光文社	2010
推	音楽と絵画 で読む T. S. エリオット:『プルフロクその他の観察』から『荒地』へ	熊谷 治子	彩流社	2018

・特記事項・その他

1. 本講義では、文学作品・映像・音楽を用いたナラティブ（物語）に関するグループワーク、ディスカッションおよびプレゼンテーション（ビブリオバトル）を行う機会を設ける。
2. 講義内容をもとに、毎回リアクションペーパーを書いて提出することとする。リアクションペーパーは採点の上、返却する。
3. 一部、「医療と法律」、「パーソナリティ心理学」、「人間関係論」の他科目と連携してビブリオバトルを実施する。
4. 事前学修として、講義で取り上げる作品や作家、主要テーマについて調べておくこと。また、参考書および推薦図書を一読しておくことが望ましい。事後学習として、講義資料をもとに要点をまとめ説明できるようにする。各コマの事前・事後学修にはそれぞれ 45 分程度を要する。さらに、ビブリオバトルの準備に 5 時間、期末レポート作成に 5 時間程度の時間を確保する必要がある。
5. 成績確定後に希望者にはプレゼンテーションおよびレポート評価を開示する。希望者は科目責任者に連絡すること。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

- ① 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。
- ② 様々な領域の専門家による講義により、多様な価値観や広い視野に立った物の見方や考え方を学ぶ。
- ③ 緩和医療の現場における治療とケアの実際を、臨床事例を交えて行う。
- ④ 医科学者として研究に従事してきた実績と、厚生労働省指導医療官として医療人の倫理面の監督にあたっている現職の経験をもとに、文学に表出された科学の光と影を紹介する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 P C Panasonic CF-J9	1	講義資料の提示
講義	エルモ書画カメラ	1	講義資料の提示
講義	D V D プレーヤー	1	講義資料の提示
講義	BD/DVD プレーヤーLogitec LBD-PUB6U3VWH	1	講義資料の提示
講義	BD/DVD プレーヤーLogitec LBD-PUB6U3VWH	1	講義資料の提示